



体協たかやま

第22号
平成16年8月30日
財高山市体育協会
広報委員会



わが協会・わが仲間

高山柔道協会

今から五十六年前、昭和二十三年一月、戦後の混乱した社会情勢の中で幾多の困難を乗り越え、柔道愛する諸先生、先輩方の努力で高山柔道協会が誕生しました。平成十一年に創立五十周年記念式典を開くと共に、「高山柔道協会 五十年の歩み」を発刊しました。この間、保育園・小学校・警察署の道場をお借りして稽古してきました。昭和三十一年、会員総力を挙げて飛騨全域から寄付金を集め、花里町に自前の「柔道会館」を建設しました。そして、平成五年にこの道場を高山市に寄付し、西スポーツ会館柔道場をたててもらい現在に至っています。

シドニーオリンピックの女子柔道で、見事銅メダルをとった山下まゆみ選手をはじめ多くの優秀な選手が育っています。一方、柔道の祖嘉納治五郎先生の「精力善用」「自他共栄」の精神を第一の修行目的とし、月・水・金・土曜日の午後七時から高山市西スポーツ会館柔道場で、幼児から大人まで百名を越す会員が汗を流しています。元巨朝の初稽古、土用稽古、寒稽古にも力を入れています。

△連絡先 黒田理事長 電話32-3113



東海柔道形競技大会で優勝し 全国大会へ出場

高山柔道協会の黒田美千子、小瀬順子の両選手は、六月の同大会護身術の部で優勝（ベア）し十月開催の全国大会へ出場される。尚、男子投の部で奥沢茂幸、富山浩成選手の組が二位に入賞した。中学生も東海を制覇し全国大会へ

晃司、山下祐輝、吉野元紀、上嶋康弘、山本拓也、森下拓巳
小学六年生女子が県柔道で優勝
山王小六年生の小関芽佳さんは五月三十日の岐阜県小学生学年別柔道大会で、六年女子40kg超級で見事優勝に輝き、八月の全国大会へ。

県中学総体で高山勢大活躍
団体4チーム個人30名東海大会へ
〔優勝〕女子バスケットボール（中山）△ハンドボール（中山）△柔道女子個人44kg級（吉野千里）（東山）△水泳男子100mがけ（武田雅士）同女子50m自由形（武田美智子）（以上中山）△陸上男子100m（水野宣典）（松倉）同女子150m（中田崇）（中山）同女子走高跳（新井絵里菜）（松倉）（二位）△陸上女子走幅跳（政井葉月）（松倉）△剣道女子個人（萩ノ脇千里）（松倉）（三位）△野球（松倉中）△剣道女子団体（松倉中）△柔道男子個人60kg級（高木竜）（松倉）△陸上男子走幅跳（土川潤平）（東山）同女子400m（中山）△相撲個人（蒲源路）（東山）

△陸上競技男子百m水野宣典（松倉）△柔道女子44kg級下吉野千里（東山）△ハンドボール男子中山中学校（中山）△ハンドボール女子中山中学校（中山）△中清徳、中里栄一、小鳥翔悟、山崎陽一、下本康貴、門谷拓、丸山裕之輔、清水諒、下本悟、塚本

東京で開催された全国少年少女レスリング選手権大会で高山勢が大活躍し3位まで8名が入賞した。△準優勝（北小）（花里小五）△渡辺登生（北小）△宮田理菜（西小三）△三位（打江泰介）（本母保）上野裕次郎（新宮小）（荒川将大）（西小三）今井壘喜（北小三）、渡辺里莉（北小四）打江佳菜（北小四）山本秀樹（花里小六年）

△少年男子（1）井ノ口鏡太郎（2）牛丸貴幸（3）間裕介（以上高山西高）△同女子（1）島あずさ（2）坂本香奈子（3）田中未知世（以上高山西高）△成年女子（2）橋戸由梨（高山体協）
県柔道体連別選手権大会兼団体選手権大会
△中学男子52kg級（吉野千里）（東山）△中学男子55kg級（蒲源路）（東山）△高校女子70kg級（平野若菜）（斐太農）△高校男子90kg級（宮代剛一）（斐太農）
全日本卓球選手権県予選大会
△ホープス男子の部（藤啓志）（山王小）△男子走幅跳（1）石原圭祐（新友）△女子五年百m（2）大前のどか（高山）△女子80m（2）広田妃加里（新友）
県陸上スポーツ少年団交歓競技大会
△男子三年百m（1）川上航（新友）△同走幅跳（1）中畑寛隆（新友）△男子六年ソフトボール（1）土本秀樹（新友）△女子四年走幅跳（1）小林麻奈（新友）△同ソフトボール（1）佐藤明希（新友）△女子五年八百m（1）野島里希（新友）△女子六年八百m（1）松山芽生（高山）
高山市民陸上競技会の結果（六月実施「青年男子」）△百m（1）久保見良一（11秒8）（2）川上直人（12秒）（以上高山短大）△四百m（1）桑原宏之（56秒8）（2）桑山和久（1分10秒）（以上高山陸上）△千五百m（1）田村修平（4分31秒9）（2）太田泰章（以上高山短大）（3）桑山和久（高山陸上）（一般男子）△百m（1）小山田浩之（12秒2）（高山陸上）△千五百m（1）清水洋一（4分25秒3）（市役所）（2）富田喜友（3）川上登（以上高山陸上）△砲丸投（1）家垣政徳（9.78）（2）富田喜友（3）中寛菊太郎（以上高山陸上）（壮年男子）△砲丸投（1）関善広（10.19）（市役所）（実年男子）△百m（1）志多昌司（14秒7）（健走会）△千五百m（1）上垣内喜久雄（6分25秒7）（2）島田勇作（以上健走会）△走幅跳（1）志田昌司（4.13）（健走会）△砲丸投（1）山村登美治（8.18）（斐太農）（青年女子）△百m（1）山下亜矢子（13秒2）（大阪体大）△走幅跳（1）岡田綾子（4.45）（2）峠しげみ（高山陸上）△走幅跳（1）峠しげみ（1）40（高山陸上）△砲丸投（1）中西里美（5.13）（斐太農）
農高教員（一般女子）△走幅跳（1）神出圭子（4.18）（日枝中職員）△混合四百m（1）R（高山短大）（49秒1）（鈴木琢也、川上直人、前沢貴史、久保見良一）
飛騨パレール会長杯大会（五月）
△男子（1）高山クラブ（2）トロプス（3）勇鷲△女子（1）星野パレール（2）RIVERS（3）マイケル・東山クラブA

栄光・快勝・健闘の戦跡

第38回県バドミントン選手権大会
△男子6部（1）荒城正己△女子3部（1）横山美咲（2）今井涼子（以上高山クラブ）
第13回県バドミントン初心者大会
△女子トップ（2）平野、横山組△男子ミドル（3）富士井、渡辺組（高山クラブ）
第49回県定時制高校総合体育大会
△バドミントン男子シングルス（3）吉川智明、斐太高（3）溝俣大輔（高山高）△同女子（2）奥村芽香（高山高）（3）塚あゆみ（斐太高）
県社会人バドミントン選手権大会
△一般女子シングルス（3）横山美咲△同ダブルス（3）小原、西尾組△横山、今井組△同混合（3）西尾達、西尾安組（以上高山クラブ）
第58回夏季バスケットボール大会
△一般女子（3）高山バスケットボールクラブ

「スポーツ王国・ぎふ」を目指して



（財）高山市体育協会会長 瀬上和雄

本年度は、オリンピックが発祥地であるアテネで二〇二〇年の参加の下に開催される記念すべき年であります。開幕早々、柔道、水泳で連日金メダルを獲得するなど日本選手の大活躍で喜ばしい限りであります。今回は地元からの選手の出場は無いようですが、近い将来、前回の山下まゆみ選手のように飛騨の若人が、世界の檜舞台で活躍してくれる事と堅く信じています。

地域としては、永年の念願であった、中山公園陸上競技場の改修も昨年から着工され、本年五月末日に完成、全天候型ウレタン舗装とフィールド部門には芝が植栽され、立派な競技場として生まれ変わりました。検定も終了し六月五日に完成式が行われ、高校総体予選会等のいくつもの競技会の中で、早くも六種目に於いて飛騨新記録が生まれ、又、緑の芝の中では、サッカー

1を始め各種の競技の向上に繋がる事と信じています。来年二月一日には、市町村合併に伴い新しい高山市が出生発致します。体育協会として合併町村の各体協の皆様と合併委員会を開催し、数回の懇談を行いました。何れも円満な方向に進められています。今後は行政また、役員、会員の御同意の上、飛騨地域中心都市の体育協会としてご協力賜る事をお願い申し上げます。次に、平成二十四年に第十七回国民体育大会が岐阜県で開催され、これからの年次計画、開催場所等、検討中であり、高山地域とし誘致種目を絞って要望する考えでございます。

一方、県ではこれ等と平衡して「県民スポーツ振興推進協議会」を設置し「スポーツ新1・1運動21」を推進し、「スポーツ王国・ぎふ」を目指しています。皆様と一緒に頑張ろうではありませんか。

平成16年度 財団法人高山市体育協会収支予算

(単位：円)

【収入の部】

科 目	予 算 額	摘 要
1. 基本財産運用収入	244,740	基本財産定期預金利息
2. 会 費 収 入	4,690,000	会員会費、賛助会費、特別賛助会費
3. 事 業 収 入	1,100,000	新年総会会費、市民健康マラソン参加料
4. 補助金等収入	32,900,000	市事業受託、県体協補助金、一般補助金、飛騨体協事務受託
5. 寄 附 金 収 入	0	
6. 雑 収 入	260	利息
繰 越 金	1,500,000	
計	40,435,000	

【支出の部】

(単位：円)

科 目	予 算 額	摘 要
1. 事 業 費	32,094,000	給料手当、福利厚生費、会議費、市民体育大会費、市民健康マラソン大会費、県体派遣費、地区体派遣費、市民登山の会、強化費、助成費、表彰費、新年総会費、印刷製本費、奨励費、スポーツ振興業務、施設管理事業委託、市民プール運営賃金
2. 管 理 費	7,872,000	給料手当、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、消耗品費、負担金、支払手数料、交際費、燃料料、雑費
3. 特定預金支出	360,000	退職給与引当金積立
4. 予 備 費	109,000	
計	40,435,000	

合併前年の飛騨体育大会を総合優勝で飾る

県民体育大会の予選を兼ねる飛騨体育大会が八月一日に開催され、多種目で二位を占めた高山市が総合優勝に輝いた。



- 〔陸上〕 男子①高山市②大野郡③下呂市④飛騨市⑤高山市⑥大野郡⑦下呂市
- 〔柔道〕 ①高山市②飛騨市③下呂市
- 〔テニス〕 男子①高山市②下呂市③大野郡④飛騨市⑤高山市⑥飛騨市⑦下呂市
- 〔サッカー〕 ①高山市②飛騨市③下呂市
- 〔ソフトテニス〕 男子①高山市②下呂市③飛騨市④大野郡⑤下呂市⑥飛騨市⑦大野郡⑧大野郡⑨高山市⑩下呂市
- 〔クレイ射撃〕 ①下呂市②高山市③飛騨市
- 〔バスケケットボール〕 男子①高山市②大野郡③飛騨市④下呂市⑤大野郡⑥高山市⑦大野郡⑧飛騨市⑨下呂市⑩大野郡⑪飛騨市⑫高山市⑬大野郡⑭飛騨市⑮下呂市⑯大野郡⑰飛騨市⑱高山市⑲大野郡⑳飛騨市㉑下呂市㉒大野郡
- 〔卓球〕 男子①高山市②飛騨市③大野郡④女子①高山市②大野郡③下呂市
- 〔総合成績〕 ①高山市②下呂市③大野郡④飛騨市

体協事務局の人事異動

事務主任丸野さん寿退職 後任には橋戸さんが就任

協会スポーツ少年団業務を主に担当していた丸野雅代さんが結婚により三月末で退職され、新たに高校時代アーチェリー選手で活躍していた橋戸由梨(写真)が採用され、四月より勤務しています。



この度、体協事務局に勤めさせていただくことになりました橋戸です。体協では、今までの競技生活を活かせるよう努力したいと考えております。宜しくお願い申し上げます。

改装なった陸上競技場を

谷川真理さんと快走

約一年間の全天候型改修工事が完成した中山公園陸上競技場は、日本陸上競技連盟からの三種公認競技場の認可も下り、六月五日盛大に完成式が開催された。

式は、市長、市議会議長、体育協会会長等によるテープカットのあと、一般市民約千人が、ゲストラランナーの谷川真理さんと共に新装の四百メートルトラックを五周走った。



高山女子ハンドボール部

五年連続の高校総体へ

八月上旬山口県を中心に開催されたインターハイに、高山高校女子ハンドボールは五年連続県代表として出場、二回戦まで勝ち残り初のベスト十六入りを果たし、準々決勝で熊本県国府高校に惜敗した。

高山西高校男子アーチェリー部

東海総体を制覇し全国大会へ

六月二十日オープン早々の中山公園競技場で東海総体アーチェリー大会が開かれ高山西高男子は団体優勝し全国大会へ出場した。選手は次の通り。井ノ口敏太郎、牛丸貴幸、畑中智裕 前田省吾(四名)

市民登山の会

今年立山連峰浄土山へ

第21回市民登山の会は、七月二十四日梅雨明けの好天に恵まれ、暑い中、昔からの信仰の山である立山浄土山(二千八百三十一米)への登山を実施しました。

参加者は一四名、スタッフ七名での登山となり、途中ガスが出て来ましたが、帰路では沢山の高山植物の花や残雪など、夏山の素晴らしさを十分に堪能できました。



毎年のことながら、飛騨山岳会スタッフのご協力により全員無事下山できました。

この人に こんにちわ



今回は、高山市新宮サッカースポーツ少年団の代表指導者として、また岐阜県サッカー協会副少年委員長、飛騨地区少年委員長として少年サッカーの普及、指導にご活躍中の中田久男氏を訪ねました。

- 何歳からサッカーを始めましたか? ・高校1年生より(斐太実業高校、当時高山市内の中学校にサッカー部はなかった。)
- 中田さんにとってサッカーとは? ・大事な趣味、自分のライフワークの一つです。節目で日本サッカーリーグ(サッカーを始める)、メキシコオリンピック(新宮サッカー設立)が刺激になった。
- サッカー指導についての思いは? ・平成元年に新宮サッカー少年団を設立し、ゼロからのスタートで大変苦労した思いがありますが、16年間がすぎチームも、指導者としての自分も、成長させてもらい、最近では充実した活動ができていると思います。
- 今後の目標は? ・楽しいサッカーの指導を基本に、県大会優勝を目標にしています。

【筆者の所見】 温和な性格の持ち主であるが、サッカーに対する情熱は人一倍強く話の中でも強く感じた。飛騨地区の少年サッカーの指導者は若返りつつあります。先輩指導者として、良き相談者となりサッカーの普及に努力していただきたいと思います。

Fair Play

アテネ五輪が暑い夏の最中開幕しスポーツの熱い闘いが連日展開されている。▲日本選手は、早々と柔道、水泳、体操でメダルラッシュ、遂に史上最高の成績で国民が歓喜と感動に沸いている。▲メダリストの多くは、幼少から競技を始めたジュニア育ちの選手達である。▲今日の子育てや教育の基本理念は「個性重視」であり、そうした思惑は親が我が子の幼少期からのスポーツ、芸能活動等を奨めている。▲こうした幼少期からの才能発掘とその育成を目指す環境が世界を制する選手を生み出す成果を上げていると思ふ。▲だが、誰もが一流に育つとは限らぬ事を理解すること、個性、特性として育てるには適確な指導と育成環境が重要である事を認識すべきである。▲高山にも今日多岐のジュニア選手と熱心な指導者が増えているが、目先の成果のみを急がず、ジュニアだから大切な心身の発達段階を踏まえた基礎基本の習得に努めて欲しい。